

第五項 大湊警備府（第十二航空艦隊）の

作戦指導

大湊警備府は北東方面の策源地として北東方面艦隊及第十二航空艦隊の作戦に協力した

昭和十九年十二月五日北東方面艦隊が解散となったので千島方面の防衛を再び擔任する事となつた、同日附第十二航空艦隊司令長官は大湊警備府司令長官（海軍中將後藤英次、昭和二十年三月十五日以降海軍中將宇垣纏爾）の兼務が發令せられたが、第十二航空艦隊司令部は依然として千歳航空基地に位置せしめ作戦の指導を行つた

昭和二十年三月頃より本土決戦に備へ千島方面根據地隊の大部を大湊附近に轉進せしめ之が完了と共に六月十五日同隊を解散したので北千島には艦隊總司令部が若干の部隊が殘留するに過ぎなかつた

本隊況に於て八月九日突然として蘇國の對日參戰となり敵は北千島及樺太に上陸作戦を實施するに至つた

北千島に於ては陸軍部隊と協同し所在部隊を以て對處せしめた
尙藤太に於ては海軍の戦團部隊は配備して居なかつた

海
軍

1644